

2020年 2月13日

阪神高速道路株式会社

入札説明書(技術提案書等含む)及び設計図書等に対する質問回答書

工事名 : 海老江工区鋼桁及び鋼製橋脚工事	
質問提出日:2020年 2月 5日 質問回答日:2020年 2月13日	
質 問	回 答
番号1 鋼桁製作工について 本工事は、本線:2連・Bランプ:5連・Cランプ:2連・北出路:1連と、鋼橋上部工が10連ありますが、それぞれの橋梁ごとに、以下についてご教示願います。 ①仮組方法(実仮組or簡略化)をご教示願います。 ②製作工数の補正係数(重連補正・斜橋or曲線補正・桁高変化補正等)をご教示願います。	番号1 ①鋼桁製作工における仮組方法については、全て実仮組を考えています。 ②製作工数の補正係数(重連補正・斜橋or曲線補正・桁高変化補正等)については、別紙-1を考えています。
番号2 鋼製落橋防止構造製作工・鋼製横変位拘束構造製作工について 以下についてご教示願います。 ①それぞれの内訳書の中で製作加工とありますが、鋼製落橋防止構造・鋼製横変位拘束構造は、小型材片として橋梁本体に含めて製作工数を算出するのではないのでしょうか。そうでない場合は、製作工数の算出方法をご教示願います。 ②鋼製横変位拘束構造の緩衝材のサイズをご教示願います。	番号2 ①ご質問のとおりとお考えください。 ②緩衝材のサイズは、350×50×540と考えています。
番号3 頭付スタッド(主桁付)について 内訳書-9・22・37に頭付スタッド(主桁付)SS400 φ22とありますが、スタッドジベル材料費と溶植費が計上されていると考えてよろしいでしょうか。	番号3 ご質問のとおりとお考えください。
番号4 塗装色について 塗装色は淡彩と考えてよろしいでしょうか。	番号4 ご質問のとおりとお考えください。

質 問	回 答
番号5 鋼桁架設工について(全橋共通) 本工事は、本線:2連・Bランプ:5連・Cランプ:2連・北出路:1連と、鋼橋上部工が10連ありますが、それぞれの橋梁ごとに、以下についてご教示願います。 ①ベント設備・ベント基礎の数量は、「金額を記載しない設計書」の※印の参考数量で積算されていると考えてよろしいでしょうか。 ②桁架設の日当り施工量算出において、一部材質量による係数a1は、一部材質量が30tを超える場合は「橋梁架設工事の積算」に記載されている係数が適用され则认为よろしいでしょうか。 ③複数班での施工を計画している工種があればご教示願います(例:本締め工・現場溶接工等) ④それぞれの沓の現場溶接長(6mm換算長)をご教示願います。 ⑤それぞれの沓の無収縮モルタル使用量をご教示願います。 ⑥主桁の現場溶接がある橋梁について、ビード仕上げが必要な場合は、ビード仕上げ数量をご教示願います。また、ケーシング設備の製作数をご教示願います。 ⑥ピンテール処理費は計上されているでしょうか。 ⑦落橋防止ケーブル取付費は計上されているでしょうか。 ⑧ベント設備・ベント基礎の供用日数をご教示願います。	番号5 ①ご質問のとおりとお考えください。 ②ご質問のとおりとお考えください。 ③特記仕様書別紙ー1(概略工程表)を参考に貴社にてご検討ください。 ④現時点でお示しできる数量はありません。当該現場溶接については設計変更で追加します。 ⑤現時点でお示しできる数量はありません。当該無収縮モルタル材料費については設計変更で追加します。 ⑥主桁の現場溶接がある橋梁について、現場溶接のビード仕上げは行わないものと考えていますが、契約後の詳細設計時に監督員と実施の有無について協議をしてください。 また、ケーシング設備については、現時点でお示しできる数量はありません。当該設備の製作・設置については設計変更で追加します。 ⑥ピンテール処理費は計上しています。 ⑦落橋防止ケーブル取付費は計上しています。 ⑧特記仕様書別紙ー1(概略工程表)を参考に貴社にてご検討ください。
番号6 鋼桁架設工について(本線P本5～P本8) 以下についてご教示願います。 ①P本5～P本6が夜間施工、P本6～P本8が昼間施工になりますが、ベント基礎工・ベント設備工・地組工・架設工・沓据付工・本締め工の日当り施工量は、昼夜ごと別々で設定されていると考えてよろしいでしょうか。 ②P本6～P本8の横取り設備・降下設備は、REPORT47.PDF:概略数量計算書(本線 鋼桁)のP10に記載されている、横取り設備・降下設備が計上されていると考えてよろしいでしょうか。またその場合、設備が変更になった場合は設計変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。 ③横取り設備・降下設備の供用日数をご教示願います。	番号6 ①ご質問のとおりとお考えください。 ②数量計算書は参考資料と考えています。 当該箇所の横取作業については【設計図(参考図) 参-001】に示すとおりを考えています。使用設備の数量や規格については当該資料を参考に、貴社にてご検討ください。架設に伴う横取り設備・降下設備については、設備数量が変更になっても原則として設計変更協議の対象にはなりません。 また、架設工法が変更になった場合は設計変更協議の対象と考えています。 ③特記仕様書別紙ー1(概略工程表)を参考に貴社にてご検討ください。

質 問	回 答
番号7 鋼桁架設工について(BランプPB2～PB6) 以下についてご教示願います。 ②PB5～PB6の送出し設備・送出し設備ヤード設備は、REPORT48.PDF:概略数量計算書(Bランプ 鋼桁)のP24に記載されている、送出し設備・送出し設備ヤード設備が計上されていると考えてよろしいでしょうか。 またその場合、設備が変更になった場合は設計変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。 ③送出し設備・送出し設備ヤード設備の供用日数をご教示願います。	番号7 ②数量計算書は参考資料と考えています。 当該箇所の送出し作業については【設計図(参考図) 参-008】に示すとおりを考えています。使用設備の数量や規格については当該資料を参考に、貴社にてご検討ください。また、架設に伴う送り出し設備・送り出し設備ヤードについては、設備数量が変更になっても原則として設計変更協議の対象にはなりません。 なお、架設工法が変更になった場合は、原則として設計変更協議の対象と考えています。 ③特記仕様書別紙-1(概略工程表)を参考に貴社にてご検討ください。
番号8 鋼製橋脚架設工について 現場溶接のビード仕上げが必要な場合は、それぞれの橋脚ごとに現場溶接ビード仕上げ数量をご教示願います。	番号8 現場溶接のビード仕上げは、行わないものと考えていますが、契約後の詳細設計時に監督員と実施の有無について協議をしてください。
番号9 床版工について それぞれの橋梁ごとの埋設型枠数量をご教示願います。	番号9 各橋梁の構造一般図のとおり、箱桁上フランジ上面には空隙を設けることなく床版コンクリートを打ち下ろすことを考えており、箱桁上面に埋設型枠を設置することは考えていません。別紙-2のとおり【設計図 p.19】、【設計図 p.31】、【設計図 p.45】、【設計図 p.55】、【設計図 p.64】、【設計図 p.71】、【設計図 p.79】、【設計図 p.85】を修正します。 なお、コンクリート数量については変更はありません。
番号10 高欄工について コンクリート1m3当りの膨張材使用量をご教示願います。	0 コンクリート1m3当りの膨張材使用量については、20kg/m3を考えています。
番号11 橋梁足場等設備工について それぞれの橋梁ごとの足場損料月数・登り栈橋損料月数をご教示願います。	番号11 特記仕様書別紙-1(概略工程表)を参考に貴社にてご検討ください。

質 問	回 答
番号12 運搬費について 重建設機械分解組立輸送費の内訳をご教示願います。	番号12 重建設機械分解組立輸送費の規格については、以下を想定しています。 なお、回数については、特記仕様書別紙ー1(概略工程表)を参考に貴社にてご検討ください。 ・トラッククレーン 80t吊以上 120t吊以下 ・トラッククレーン 120t吊を超え160t吊以下 ・トラッククレーン 160t吊を超え360t吊以下 ・トラッククレーン 360t吊を超え550t吊以下 ・クローラクレーン 35t吊を超え 80t吊以下 ・クローラクレーン 80t吊を超え150t吊以下
番号13 REPORT48.PDF:概略数量計算書(Bランプ 鋼桁) P127について 板張防護294.4m2とシート張防護294.4m2が記載されていますが、どちらも設置するのでしょうか。	番号13 「金額を記載しない設計書(2)」の49頁のとおり、板張防護を考えています。
番号14 REPORT51.PDF:概略数量計算書(本線 鋼製橋脚) P11について 積算用数量総括表で、アンカーフレームの部材数が1となっていますが、2ではないでしょうか。	番号14 ご質問の通り、アンカーフレームの部材数は「2」が正です。
番号15 低入札価格調査基準について 本件における低入札価格調査基準については、工事費の調査基準価格(契約制限価格の75%から92%の範囲)と、 詳細設計費の調査基準価格(業種区分:土木設計, 契約制限価格の60%から80%の範囲)の、 合計が低入札価格調査基準になると考えてよろしいでしょうか。	番号15 本件における低入札価格調査基準については、工事費と詳細設計費を別々に計算するのではなく、一体として計算しており、その範囲は契約制限価格の75%から92%としています。なお、計算式の詳細については貴社にてお考え下さい。